

令和5年3月
東京三協信用金庫

「東京ソーシャルボンド」への投資について

東京三協信用金庫(理事長:中島久喜、以下当金庫)は、資産運用を通じた社会貢献と 2015 年に国連が定めた持続可能な開発目標(SDGs)達成への取組として、東京都が発行する「東京ソーシャルボンド」への投資を実施いたしました。

ソーシャルボンドとは、調達された資金が、基礎インフラ開発や社会サービスへのアクセス改善等、社会課題への対応を目的とした分野への投融資に利用されることを前提として発行される債券です。

本ソーシャルボンドにより調達された資金は、東京都が定める、「公共施設およびインフラの防災対策・老朽化対策」、「産業の振興と雇用の維持・創出」、「教育環境の整備」、「介護サービス基盤の整備」、「児童福祉施設等の整備」、「住宅セーフティーネットの強化」、「公共施設のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化」等に使用されます。

事業の実施においては、明確なルールのもと、透明性・公正性を確保しており、投資された資金の使途やその成果を確認することができます。

当金庫は、新宿区に本店を置き、東京都を営業区域としております。本ソーシャルボンドへの投資が地域社会および地域の皆さまの発展に繋がっていくことを期待し、投資を決定いたしました。

今後も、当金庫はその公共性・公益性に鑑み、持続可能な社会の形成に向けた社会的責任を果たしていきたいと考えております。



この街との“つながり”が誇りです